

新幹線プレス

2015年4月9日 No.215

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

官製春闘打破！賃上げと共に労働条件の改善も勝ち取ろう！！

「職場改善要求」申し入れに対する業務委員会開催《駅関係編》

東京駅営業三科(遺失物・乗客)の常態化した 超過勤務の現状を改善するために 人員の「増」を要求！！

会社は、『必要な人員は会社が責任を持って配置している』。さらに『業務量が増大していることは認識しているが現状で対処されたい』と回答しました。

常に超過勤務が発生する原因は、業務量に見合った適正な人員が配置されていないためであり、会社の回答は矛盾しています。また、年休の取得ができずに年休を失効してしまう事態も発生しています。

年度初において、適正な要員配置を強く会社に要求していきます。

営業職の夏季制服の改善を要求！！

夏の期間の制服について、熱中症予防や業務の快適性のためにネクタイの省略や開襟シャツの支給等、スーパークールビズを実施することを求めました。

会社は、『権限外事項であるが、そのような考えはない』と回答し、改善に消極的な姿勢に終始しました。組合は、改善に向け本社に要請することを強く求めました。

「駅長の代行業務」を指定された場合に新たな手当を要求！！

輸送業務において、駅長の代行業務を一般社員が担わされている現状は理不尽であるため、手当を含めた改善を求めました。

会社は、手当についてはこれまで運輸系統社員運用の変更や新人事賃金制度の改正をしており、現段階において変更する考えはないと回答しました。

駅長の代行業務は管理者が行なうことが基本であり、一般社員が担うことは責任の問題等もあり指定をやめるように要求しました。

多客輸送時及び異常時における情報伝達の改善を要求！！

営業の最先頭で働く社員に対して、多客期や異常時に適切な情報が伝達されない現状について、改善を求めました。会社は、『現状で対処されたい』と回答しましたが、議論の中で「今後も改善に取り組む」と回答しました。

組合掲示板の設置箇所の変更を要求！！

東京駅の東海労の組合掲示板は、営業三科の鍛冶橋事務所内に設置されていますが、輸送に勤務する東海労の組合員は組合掲示物を見ることができません。

東京駅に勤務する東海労組合員全員が掲示物を見られる場所へ掲示板を移動するように要求しました。会社は、統一的なルールで掲示板を設置しているとして、組合の要求を聞き入れませんでした。不当な扱いであると抗議しました。

新横浜駅営業二科の詰所出入扉の改善を要求！！

新横浜駅営業二科の詰所は、出入扉が一か所しかなく地震や火災等が発生したときに外へ避難できなくなる恐れがあります。非常扉の設置も含め出入扉を二箇所にすることを求めました。会社は、『法律上、構造に問題がないことを確認している。出入扉を二箇所にする計画はない』と回答しました。

組合は、法律上とはどのような法律なのか問いましたが、会社は回答できないため、改めて回答することになりました。

その他にも、組合員から上がった要求について議論しましたが、会社は『現状で対処されたい、そのような考えはない』との回答で、要求に応えませんでした。

**このような会社の姿勢を許さず、今後も各職場の問題
点の改善を目指して粘り強く会社に要求していきます！**